

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



▲ 食育改善のための栄養学学習。

平成26年12月19日(金)
午前10時と午後1時30分
場所尾張旭学校給食センター

世界化してきた日本の食文化
異文化外国人との交流

26年最後の料理教室
インド人と日本のカレー交流
どちらが旨かったかな!!
子供は自分で選んで「庄原
命作」のカレーも食べて文
インド人が作ったカレーと
判別のナンも完食。やはり、
カレーはみんなの好物なのだ
と意識したと思

また「食」に關する栄養学も、子ども達に見て貰うに答えてました。園児は保育園から学ぶことも新しい発見があると思



▼ インド人の経済学との交流で、いろいろ教えてもらった。



見せる園児達とナンを頂き御礼にけん玉をインド人の経済学者からカレー

子供達へ、
鷹張し続けるこの宇宙、
世界で隣人を敬うツツ
自国を愛するアヒルを
をしっかりと持ち、新たな
価値を、社会を作り上げて
いくことのできる人間にな
そ欲しいのだ。
与えられた課題をこなす
すのではない。
周囲からは与えようもない
新たな価値を見出し、
見定め、たとえ長い年月
がかかろうと辛抱強く、
社会や市場に働きかけ
ながら実現していくことの
できる人間になぞ欲しい

大学入試試ミライ
試験問題に
国語の質問
は「かんけりの政
治学」と題され、
評論から出題
政治社会学者
栗原柳之が一九
八四年に発表し
た「カネの漢字に
て足跡」などの
身近な遊戯を取
り上げながら社
会のあり方を考
えさせる内容だ
現代は遊戯が楽し
みやすい時代だが
醍醐味は益々減
ることでオニに押
まされ仲間を
解放できること
ある学が人生だ



2014. 12. 19



尾張市教育長、代表・高橋のみ学園長、異業種交流会インド経済学者

2014. 12. 19